

平成30年度第6回仙北地域協議会会議録

平成31年3月7日

仙北地域協議会

平成31年度第6回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	3
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 地域枠予算について	3
■報告	8
(1) 地域枠予算執行状況について	8
(2) 仙北支所地域活性化推進委員会について	8
■その他	10
■閉会	11
■署名	11

平成31年度 第6回仙北地域協議会 会議録

■日 時：平成31年3月7日（木） 午後6時

■会 場：仙北支所 第1会議室

■出席委員：13名

石田 常盤、大釜 滝浩、大河 奈々子、草 弼 美香
小須田 颯、後藤 孝子、小松 郁子、佐藤 あや子
佐藤 隆造、タベルスキ マイケル、原 隆新、藤原 稔
吉田 利雄

■欠席委員：4名

小柳 伸一、佐藤 美佐子、中村 健秀、森元 通友

■出席職員：8名

藤嶋 勝広（仙北支所長）	熊谷 直栄（文化財保護課長）
高橋 明子（市民サービス課長）	佐藤 治彦（農林建設課長）
風登 紀英（仙北公民館長）	須田 康平（仙北公民館主査）
佐々木 勲二（地域活性化推進室主査）	草弼 友也（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 協 議
 - 6 報 告
 - 7 そ の 他
 - 8 閉 会
-

（午後 6時 開会）

○吉田会長（以下「会長」と表記）

どうも、お晩でございます。一日の疲れた中での会議にご出席いただきましてありがとうございます。第6回目ということで今年度の区切りということでございます。今日までの審議については、ご協力いただきながら進めてきました。本当にありがとうございます。今日も4件の申請がございます。皆さんのほうには、前もって配布してございますので、目は通しておいてもらっているものと思っておりますが、限られた時間での会議でございます。どうぞひとつ有意義な会にさせていただきますことをお願い申し上げて簡単でございますが、あいさつに代えます。今日は本当にありがとうございます。

○藤嶋支所長（以下「支所長」と表記）

お晩でございます。今日は、お忙しい中、今年度最後の地域協議会ということでお集まりいただきましてありがとうございます。3月になりまして、この冬も終わろうというところまでできておりますが、今シーズンは降雪も少なく大仙市全体で見ましても雪による死者はでなかったということで、安心していただいております。また、去る2月2日に行なわれました払田柵の冬まつりでございますけれども、この通りの雪不足ということで当初は、心配しておりましたけれども直前にある程度まとまった雪が降ったおかげで、ミニかまくらを作るには絶好の降雪ということで、その点では良かったなと思っておりますが、実は当日の午前中は風が強くて準備段階でテントを立てたのがほぼ飛ばされたということで、テントが無い状態で出店した関係で大分人の入りは少なかったのかなと思っております。その点は残念ではありましたが、夜は大変天気も良くてカメラマンの皆さんから幻想的な風景を撮りにきていただいたということでございます。その壊れたテントにつきましては、今日の地域予算の申請ということで、何とかご承認いただきまして桜まつりも控えておりますので、それまで直したいなと考えておりますので、何とかよろしくお願いたします。それから報告案件ということで、後程担当のほうから説明させていただきますけれども、老松市長就任2年目ということで、それぞれの地域がそれぞれ元気にならないと大仙市全体が元気にならないという強い思いから今年度地域予算のほうも増額になってました。執行率ですけれども、今回申請したものも含めて86%程度に留まっているということで、それについては少し残念な思いもありますけれども中身は後でご覧いただくと分かりますが、市民主導型が昨年までと比べると大分増えてきております。これは、地域の皆さんが地域のためにそれぞれできることを主体的に考えて実行していただいたという結果でございますので、それぞれの取組みが地域の課題解決、そして地域の賑わい創出に繋がっているということに関しては、大変嬉しく感じているところでございます。最後になりますけれども、本日提出しております案件についてご審議をよろしくお願申し上げますと共に今年度はこれで最後ということになります。皆さんにつきましては、来年度も引き続きの任期ということでございますので、どうか来年度もよろしくお願申し上げます。今日はよろしくお願いたします。

○会長

それでは、議事に入る前に、会議録署名委員を指名させていただきたいと思います。草薨美香委員と小須田顕委員に署名委員を務めていただくようお願いいたします。よろしくお願ひします。それでは、議事に入らせていただきます。それでは、議事に入っていきます。地域枠予算についてご説明願ひします。

○熊谷文化財保護課長

配布資料に基づき説明。

・行政主導型

№. 35 「池田甚之助顕彰碑柵修繕」

事業目的：池田家12代当主「池田甚之助」の功績を顕彰する石碑が上り場自治会館地内にあるが、経年劣化等により顕彰碑柵の一部が倒壊しており、修繕を実施し、主要な観光ルートの一部となっている顕彰碑の環境を整えることで見学者の安全確保及び池田家顕彰活動の継続を図るもの。

申請団体：大仙市文化財保護課

申請額：488,160円（修繕費）

○会長

ありがとうございました。ただいまご説明いただきましたが、この件について皆様から質問等ありましたら承りたいと思います。無ければ審議に入ってよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○会長

これから審議に入りますので、申請者の方からはご退席いただきます。ありがとうございました。

（説明者退席）

○会長

ただいまご説明いただきましたけれども、この件について皆さんからご意見をいただきたいと思ひます。

○藤原稔会長

昔この広場というのは、子どもの頃よく遊んだ場所でもありますけれども、良い環境のところであって、これはなんとか維持していただきたいなと思ひています。良いと思ひます。

○会長

その他ご意見ございませんか。皆さんから賛同いただけるものとさせてもらってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございます。それでは、次の申請について説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・市民主導型

№. 34 「秋田県文化功労賞受賞者記念講演会の冊子刊行事業」

事業目的：昨年ふれあい文化センターにおいて「秋田県文化功労者記念講演会（H30.12.9）」が開催され黒澤氏と富樫氏の両氏からご講演いただき、講演会の反響がとても大きかったことから、講演内容を冊子として刊行することで広く各世代への共有を促すほか、社会教育の一環として提供し、文化の高まりを後世へとつなげるもの。

申請団体：大仙市仙北史談会

申請額：141,666円（補助金）

○会長

今の説明に佐藤隆造委員さん補足するところがありますか。

○佐藤隆造委員

今、事務局から説明いただいたとおりであります。本来、私どもの史談会で出せばいい訳ですけども限られた予算でもありますし、機関紙として発行する訳ですけども今回は広く市民の方々、特に若い方々にも読んでもらいたいという意図が含まれておりまして是非皆様から予算のお願いで恐縮ですが、ご理解をいただきたいということでございます。よろしく願いいたします。

○会長

今の件について皆さんからご意見いただきたいと思いますがいかがですか。

○後藤孝子委員

うもれぎ（史談会の機関紙）は郷土の歴史を探求して忘れ去られようとしている地域社会の生い立ちとか文献などの数多くの資料の収集、編さんを行なって愛郷心の向上に連なり、村発展の原動力となることを期待して発刊されたと伺っておりますので、この黒澤先

生と富樫先生の講演は是非、歴史の1ページとして残していただきたいなと思います。

○大釜滝浩委員

読む前から素晴らしいことが予想されますが、皆さんが読むものに史談会さんがお金を出していただくっていうのも大変だと思いますが、なんとかならいものですかね。

○佐藤隆造委員

今、大釜さんのほうか負担があつて大変じゃないかっていただきましたけれども、私達の今度の4月の総会が51回目で満50歳になる訳で、お金が無くても何とかしなければ駄目だと思っていた訳です。印刷所とまだ詰めてはおらないんですけれども、原稿が案外集まってきまして当初のページ数より少し多くなりそうな感じですが、まずこれで走ってみようかと思っているところですのでこれをひとつご理解いただきたいと思っています。

○会長

ありがとうございました。発刊については会としても頑張っていくということでした。その他ご意見ございませんか。提案通り承認させてもらってよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございます。それでは、承認ということで進めさせていただきたいと思えます。次の申請について説明をお願いします。

○高橋市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

配布資料に基づき説明。

- ・行政主導型

№. 36 「仙北地域コミュニティ用品修繕」

事業目的: コミュニティ活動用品としてテントを用意しているが、使用中の強風により、フレーム等が破損し、コミュニティ活動に不便が生じているため、破損部分の修繕を行う。

申請団体: 仙北支所市民サービス課

申請額: 186,871円（修繕費、消耗品費）

○会長

ただいま説明いただきましたが、これについて皆様からご意見いただきたいと思っています。

○大河奈々子

これからも沢山使用する機会があると思いますので、賛成です。

○原隆新委員

かなり活用されているテントですので、早めに修理していっぱい使っていただきたいなと思います。

○タベルスキマイケル委員

このテントっていくらしますか。

○支所長

1張20万くらいはすると思います。

○会長

10張直してこの金額ですか。

○支所長

基本的に部品を買って職員が直します。職員で出来ない部分は業者をお願いするという事です。

○タベルスキマイケル委員

難儀かけますが、このテントにもお世話になってますのでよろしくをお願いします。

○大釜滝浩委員

ちょっと質問ですけど、プルリングは代用品でキーリングってなっていますが、これ正規のプルリングだとまずいのでしょうか。

○市民サービス課長

正規のプルリングは、それを単体で買うことができないということで代用品を買うということでした。

○小須田顕委員

このテントって借りることはできるのですか。集落の夏祭りとかには借りられるのかなと思って。

○市民サービス課長

コミュニティ事業には貸し出すことができます。

○小須田顕委員

コミュニティ事業っていっても集落の人達で集まって何かやるってことでも貸してもら

えるってことですか。

○支所長

大丈夫です。

○会長

その他にご意見ございませんか。皆さんから反対意見ございませんでしたので、承認させていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございます。それでは、次の説明をお願いします。

○支所長

配布資料に基づき説明。

・市民協働型

№. 37 「払田柵総合案内所前桜維持管理事業」

事業目的：地域住民が主体となり、テングス病に罹った桜の枝を選定し、多くの観光客が訪れる払田柵跡にある桜の維持管理と景観の保護を図る。

申請団体：払田部落連合会

申請額：205,200円（委託料、使用料及び賃借料）

○会長

ただいま説明いただきましたが、ご意見を伺いたいと思います。

○佐藤あや子委員

他町村からも払田柵を訪れる方がいらっしゃいますので、是非やっていただきたいと思っています。

○小松郁子委員

病気が拡がらないという面でも、今手入れしておけばいいかと思っています。

○石田常盤委員

桜の木そのものは、町の木なんですか。あと真山の周りにも沢山桜がありますけれどもそれも市で管理しているものですか。

○支所長

市が所有しています。真山公園も地域枠予算で前にやらせてもらってます。前は行政主導型でやってましたが、市民との協働ということで出来るだけ地域住民から協力をいただいた形でやっていきたいという市の方針もありまして、桜の剪定に関しましては市民協働型へ移行しているところです。

○会長

今の件についてですが、ご理解いただいたものとさせてもらってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございます。それでは承認させていただきます。以上で地域枠予算については閉じたいと思いますが何かありませんか。無いようですので議事は閉じまして報告にはいらさせていただきます。

○事務局（地域活性化推進室）

地域枠予算執行状況について配布資料に基づき説明。

○会長

ありがとうございました。今日承認になったものは年度内に消化できるものですね。

○支所長

はい。

○会長

ただいま執行状況について説明がございましたけれども何かございませんか。無ければ次に移ります。

○事務局（地域活性化推進室）

仙北支所地域活性化推進委員会について配布資料に基づき説明。

○会長

ありがとうございました。既に実施済みのものもあるということでした。

○支所長

私から補足ですが、ベースに地域振興計画という言葉がでてきますが、平成27年度に作って計画期間は平成28年度から37年度までという計画でして、これに載っているこ

とを支所の内部でどうやって具現化していくかと協議して1年間やってきた結果を今回ご紹介させていただいたことなのですが、実はこの地域振興計画の大元というのが、市の第2次大仙市総合計画という中の地域版という捉え方になってます。今日この後でご意見をもらうって形ではなくて、委員の皆さんは来年度も引き続きの任期ということでございますし、市の総合計画も前期実施計画というのがあって、それが来年度で前期が終わることになります。それに伴って今後、後期の計画を立てる時期になってますし、その為には当然前期の検証ということもやっていく必要があるんですが、その地域版も随時見直しする必要がありますし、この中身で事業をいざどうしてやるってなったときに、地域協議会の委員の皆さんの意見というのは非常に大事になるものなので、職員だけでなく是非、来年度は全体でやれば細かい話が出来なくなるケースもありますので、出来れば分科会というか、そのような形で振興計画の見直しと合わせて具体的な事業、地域の活性化に繋がるような事業を考えていただけるような仕組みを来年度早々に考えて皆さんから意見出しをしていただけて出来る事業をやっていくと支所としては考えておりますので、今日特別ご意見云々ということではないです。

○会長

お話にあったように支所のほうでは推進委員会でこのような計画をされていて、地域協議会委員の意見も反映させたいということでした。また、地域協議会からもアイデアを出すことができる機会もあるということでしたので、その辺は皆さんからご理解いただきながら意見を出してもらってことになるかと思います。合わせてなんですけれども未来を語る会で色々な地域の人達から参加してもらって意見をいただいている、それを地域の皆さんに見える形でもっていく時期にきているのかなと思っていますので、これも委員の皆さんから良い意見があれば提示していただきながら進めていければこの地域の活性化に繋がると思いますので、役所のほうから提案されたものについては、意見交換など協力していただきたいと思います。今のお話で要望があれば承りたいと思います。

○佐藤隆造委員

今、お話された地域振興計画ですが、市として10年間の計画を立ててるっていうものを渡されているんだけど、この前防災の提案が出されて、その地域振興計画を必要に迫られて見たら非常に良く計画みたいなもの書かれていました。そのようなことも我々常に勉強しておくっていうか、8つある地域がそれぞれ将来こうするってことまで謳ってありましたので、非常に立派なものだなと思っています。それから来年度にやるっていう④、⑤についてですけども、仙北地域の未来を語る会をやったときに文化財保護課長が非常にいい講演をされて、一ツ森を中心とした観光計画といったものを打ち出しておられたし、なるほどなと思っていつも払田のほうに目がいってあったし、折角ある餅の館だとか活用されてるかってなると地元としては勉強不足だなという面をもっておりましたが、あそこを拠点としたプログラムを考えようっていう発想は素晴らしいことだと私は思いました。今回も⑤に書かれておりますし、例えば私文化財関係で magari 家の中にある襖は川

口月嶺という非常に有名な南部藩のお抱え絵師が書いた襖なんですね。あれ30年近くなるとは思いますが、見てみると穴が空いたりして非常に劣化していると感じて文化財保護課にちょっと話をしましたら、そのことは認識はしているけれども、自分達のほうの管轄じゃないとは言わなかったけれども、未だにあの状態で。今日の池田家の石碑もうちの会員から話が出ているはずなんです。その部署にだけ話をされていて動かないってのは残念な話だし、今の襖なんかも話を聞くと市民サービス課の担当。建物はそういうことだそうですが、これを皆でやっぱり、これをどうするかってことまで考えていったら目的にすこしでも沿うものじゃないかなと感じてました。それからたまたま私が行ったときに刈和野の小学校だったか、餅つきであそこいっぱいになる位来ていて、こちらで思いもしなかった動きが他でできてきているのかなと思いました。なので、竹馬でやった未来を語る会ですが、語るだけ語って語りっぱなしになってしまうのじゃないかなと思いました。感想です。

○会長

ありがとうございました。今、佐藤委員さんが話されたようなことも踏まえて、これから地域をどうしていくか。無いものを強請るよりも有るものをどうやって活用していくかってことだと思います。それについてはそれぞれのポジションの方々がいらっしゃると思いますので、良い知恵を出していただきながら、その知恵を活かしていく方法を考えていくということでしょうか。

○支所長

具体的な事業の提案だったり、それぞれの団体になるとは思いますが、地域協議会の委員さんも母体とする団体だったりはあると思いますので、様々な分野の人が集まっている地域協議会なので、その中から出てきたご意見というのは、非常に大切にしていけないと思っています。

○会長

佐藤委員さんと支所長からお話いただきましたけれども、その辺を踏まえて進めていかなければいけないと思います。その他のほうに入っているような状況ですが、何かないですか。

○市民サービス課長

地域公共交通の再構築に関して地域協議会の皆さんからご協力いただきましてありがとうございました。2月5日に皆様にお示しした素案を提出いたしております。平成30年度を地域公共交通の再構築に向けまして調査の年として31年度を新制度の構築、32年度を準備期間と実証運行の年としまして、33年度からの本格運行を目指す計画となっております。今後、何かと地域協議会委員の方々にご協力を願うこと有るかと思っておりますのでその節はご協力の程、よろしくお願ひしたいと思います。本当にありがとうございました。

○会長

ただいま、地域公共交通についてのお話ありましたけれども、何かご意見ありますか。その他ご意見ございませんか。無ければ閉じてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。今年度、最後の委員会でしたが、皆様のご協力を得ましてスムーズな進行ができましたことを感謝申し上げます。ご苦勞さんでございました。

(午後 19時10分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

草薨 美香

小須田 顕
